

中国民放クラブ活動だより

「三瀧寺は静寂の中にある」

広島支部デジカメ同好会

河野 正(HTV)

4月14日デジカメ同好会の撮影会で広島市西区の三瀧寺を訪ねました。

空模様は今一つ薄曇り。当初の予定ではなかったので参加者は少なめの6人。皆が集まったところで集合写真をパシャ。

三瀧寺の歴史は古く、平安時代に遡ります。寺伝によりますと開山は809年、弘法大師空海の創建と伝えられ、広島でも指折りの名刹です。また秋紅葉の名所として知られていますが、初夏の新緑もまた違った趣きがあります。

これからの暑い夏もマイナスイオンを感じながら静寂の中で心を癒すには絶好のスポットと言えるのではないのでしょうか。

参道は緩やかな坂道が続いており、道沿いには石仏や地藏、碑が参拝者を迎えてくれます。

歩き疲れて参道沿いにある古民家カフェ「空点庵」で三瀧の名水を使ったコーヒーと名物のわらび餅をいただき一休み。



コロナ禍中、外出も控える今日此の頃ですが、密を避け、ぶらりと写真撮影に出かければストレス解消にもなると思います。写真に興味をお持ちの方、カメラ機能を熟知されなくてもスマホでもOK。あなたのデジカメ同好会入会をお待ちしています。



広島支部ゴルフ同好会コンペ

熊野隆史(RCC)

4月26日(月)コロナ禍、三密を避け、セルフ曜日、「宮島志和カントリー倶楽部」で開催した。

今年、桜は3月中旬には咲き、残り桜は無いが、素晴らしい晴天、芝は青々として目土も無い。ゴルフ界は、日本人初のメジャー大会「マスターズ」優勝を果たした松山英樹選手、女子プロも若手プロが大活躍している。

コロナ感染は2年目に入った。運動不足が続く中で、しっかりと運動でき、コミュニケーションの場は楽しい。後はスコアがまとまれば、更に面白いはずが、身体が動きにくい、股関節や体幹の捻転、右肘の屈曲と左前腕の反転が、下半身の左足へ体重が掛かった状態でタイミングよくリズム感があり、勝手にヘッドの重さが振り落とされる。そんなイメージでスイングが繰り返されたら理想である。

そこで、青木功プロは言う「体・技・心」だと。正しい身体の動きに於いて、順番を間違った身体の動かし方の練習をすれば、問題だと石川遼プロは言う。見様見真似から習った私は、手打ちを止め、

下半身からの体幹の振り、リズム感で振る事に切り替えた。日は浅いが今日のプレーで結果が現れた。時間はもうそれ程ないが、少し楽しみが出てきた。

結果は、範を垂れた会長吉村淳さんがOUT49、IN52で振り切り、優勝した。

優勝	吉村 淳
out 49 in 52 gross 101 hdep net 26.4	74.6
準優勝	柏村 武
out 42 in 45 gross 87 hdep net 12.0	75.0
3位	竹内 尚志
out 50 in 47 gross 97 hdep net 21.6	75.4
4位	滝村 寛
out 49 in 50 gross 99 hdep net 22.8	76.2
5位	喜花 俊幸
out 47 in 51 gross 98 hdep net 21.6	76.4

次回は、10月中旬、雨が降らない日を設定するため、2曜日を予約し、晴れの日を競技予定日と決めて、終了した。

